

## 「盛岡・秋田支社における乗務員基地再編の概要」

### 提案時における地本一支社間の議論内容について（その2）

#### （津軽線ワンマンについて）

- ・設備工事は 12 月までに完了したい
- ・ワンマン設備は蟹田まで。蟹田・三厩間はツーマン
- ・弘前運輸区の乗務員は夏の終わり頃くらいで調整したい。
- ・設備を付ける際は、秋田支社や弘前運輸区になると思うが、場合によっては青森運輸区に協力してもらう事もある。
- ・弘前運輸区の訓練運転は、青森運輸区のハンドルを借りる事になる。

#### （移管する時の青森運輸区の人が手伝いなどによる兼務発令などの可能性について）

- ・現時点で具体的に兼務を付ける考えはないが丁寧にやっていく。

#### （青森運輸区の跡地について）

- ・弘前運輸区の乗務員休憩室・宿泊所という位置づけは変わらない。空きスペースは今後検討。

#### （異動の時期について）

- ・社員の生活設計を配慮することは十分承知している。社員個々の状況を見ていく。
- ・社員の状況は既に毎年の自己申告書の面談はやっている。面談に限らず社員とのコミュニケーションツールを使い社員を把握していく。
- ・多車種免許についても異動を考慮する 1 つだが、社員の状況・家庭状況も勘案して決定。
- ・事務、管理者は支社またぎの異動は考えていない。
- ・弘前運輸区での見習いもあることから、異動は 9 月頃のイメージ。運転士 10 名程度。車掌はなし。
- ・今の青森運輸区の体制をしっかりと維持できるようにやっていく。移管まで最低 27 人は必要
- ・青森運輸区だけでなく、支社の在来乗務員区の社員から、秋田支社に行ける方がいれば行ってもらう。青森ありきではない。
- ・9 月頃異動する方は津軽線を弘前運輸区の乗務員に教えるのではなく、3 月移管実施のタイミングで一人乗務できる状態にするためである。
- ・職場が無くなる前までには全員がどこかに移動する。

他にも情報が欲しい！という方は、「東北三地本」で今すぐ検索♪  
もしくは、右のQRコードから気軽にアクセス☆→→→→→→→→

